

第6学年 学級経営案

担任 野路 拓史

学校教育目標
内外海に誇りを持ち、未来へ大きな志を持つ子

学級の実態

- 元気で欠席も少なく、活発に運動する。
- 何事にも真面目に取り組む、素直に話を聞ける。
- 最高学年として学校のリーダーとなり活躍することに喜びを感じている。
- 活発な話し合いがあまりできていない。

担任の願い…こんな6年生に

- ・気持ちの良い挨拶や返事が、いつでもどこでも誰にでもできる。
- ・発表などを積極的にし、自分の意見をみんなに伝えることができる。
- ・最高学年としての自覚を持ち、率先垂範を心がけて下級生から信頼される。
- ・内外海地域をもっと好きになり、進んで行動できる。

《学級目標》
進んで行動高め合う
 ～笑顔で挑戦 一致団結 6年生～



目標達成のための具体的な取り組み

志を持って主体的に学び合う子

確かな学力

○基礎・基本の定着

- ・集中力をつけるために脳トレや古典の暗唱を継続的に行う。
- ・個や習熟に応じた個別指導を実施。
- ・漢字計算テストによる学力の確認
- ・必読図書を選定し、推奨することで読書目標年間 10000 ページ達成を目指す。
- ・「新聞記事を読もう」活動の継続
- ・毎日のふりかえり、テーマ作文の継続実施により書く力をつける。

○自主的な学習態度を身につける

- ・自主学習（予習・復習・発展）に取り組む、良いノートを見本として提示する。
- ・質問する力、疑問を持つ力をつけられるように、考える授業づくりを行う。
- ・読書活動や朝マラソンでは短期目標を設定し、見通しを持ち取り組む。

仲間とつながり合う子

集団での力を高める

- 体育大会、遠泳、駅伝、修学旅行などの行事を通して、協同一致し仲間との絆を深める。
- 委員会活動や当番活動を、他の子と協力しながら取り組む。
- 学校生活を送る中で課題を見つけ、話し合いによって全員で解決していく態度を育てる。
- 作文の読み合いや作品の鑑賞活動などお互いを認め合う場を設定する。

個での力を高める

- 縦割り活動や集会活動などで全員が前に立つ機会を設け、リーダーとして責任ある役割を担うようにする。
- 体験活動や大きな行事を振り返り、記録として残すことで自己有用感が高められるようにする。
- 道徳や学級活動の時間を通して、自分や社会について考える時間を多く持ち、自己を見つめ直す。

たくましい心と体をつくる子

正しい生活習慣を身につける

- 歯みがきやハンカチ調べなど日々の健康に対する取り組みをきちんと行う。
- スマホやパソコンの利用など、ネット社会と適切に関わり、睡眠時間を確保できるようにする。

学校周辺の環境を活用

- 木登りや志の道登り、遠泳など地域の自然を利用し、良さを感じながら体力作りを行う。
- 朝マラソンに進んで取り組み下級生の手本となれる。

学校の代表としての自覚を高める

- 器械運動発表会、陸上記録会に向けて目標を持って取り組み、対外行事で結果を残し、輝くことで自信を持って中学校へ進学できるようにする。

困難を克服する強い心

- 鯖街道踏破、読書、暗唱、縄跳びなど大変なこと、苦手なことに全員でチャレンジし、達成することで絆を深めていく。

笑顔の溢れる卒業式 中学校へのスムーズな接続 郷土を愛する心

家庭との連携

- ・学級日より、家庭訪問、連絡帳等を通じて家庭との連携を図る

地域との連携

- ・総合的な学習の時間を中心に内外海を知り、地域の人に学ぶ姿や成長を発信することで交流を深める。